

## 「病院でこんな素敵な歌声が聴けるなんて、感激です」

11月6日（水）午後6時半から、外来ホールで開かれた“秋を想う りゅうよしこ&ダンディーズ コンサート”。りゅうよしこさんが率いる男性10人、女性4人のコーラス隊が、夕食後のひと時を患者さんに楽しく過ごしていただきたいとの思いを込めて、秋にちなんだ歌を披露してくださいました。



曲目はりゅうさんのソロ「アニー・ローリー」「もみじ」「赤とんぼ」に始まり、ダンディーズの「5月のバラ」「あなたのすべてを」「夜霧のしのび逢い」、女性陣の手話も加わって「ふるさと」「アメージング・グレイス」「ビリーブ」「花は咲く」、ラストはりゅうさん作詞作曲の「マイホームタウン千葉」など15曲を熱唱。途中で患者さんのご家族の2歳の男の子がピアノに合わせて体を動かしているのを見て、りゅうさんがすかさず「犬のおまわりさん」を歌って、皆の笑顔を誘いました。

「まさか病院で歌を聴かせてもらえるなんて思ってもみませんでした。赤とんぼ、懐かしくて一緒に歌いました」といった感想のほか、

「アメージング・グレイス」を聴いてそっと涙を拭いていた患者さんも。演奏終了後に電子

ピアノを触りにきた女子中学生の患者さんは、合唱曲「巣立ちの歌」を見事に演奏。コンサートをきっかけに音楽への思いが募ったようです。また、外来ホールのスターバックスさんからは、イベントにいらした患者の皆さんへ、クリスマスの時期限定のコーヒーとケーキの試食の提供もありました。

